九州文化学園グループ
社会福祉法人世知原福祉会　　養護老人ホーム　グリーンホーム　　令和８年８月１日　　発行

グリーン通信

Vol.59

今年から『酷暑日』と表されるほど暑い夏が続いています。暑い日が続くと出かける機会も減ってしまいます。

施設生活の中で少しでも夏を感じてもらえるよう納涼会を行いました。皆さんの楽しそうな様子は別のページでご紹介します！

夏到来！

お花見

４月の天気がいい日にお花見ドライブに行ってきました。
綺麗な桜を見て春の訪れを感じました。

端午の節句茶話会

小さな鯉のぼりを一人一人作りました。完成したものは壁面に飾り大きな鯉のぼりが出来ました。迫力満点！

母の日 父の日

何が入っているのかと、プレゼントを楽しそうに開けられていました。ちなみに「小銭入れ」でした・・・

洋服販売

洋服販売会を開催しました。直接服を見て買う機会が少ないため、皆さん真剣に選ばれていました。

どれがいいかな?

カレー作り

昼食のカレーを作りました。
食材の皮むき・カットはお手の物！
あっという間に完成しました。

剥いて

切って

炒めて

完成！

煮込んで

七夕茶話会

納涼会

♪ 盆踊り ♪

スイカ割りゲーム

夏の風物詩、納涼会を行いました。
スイカ割りゲームや盆踊り、射的、ヨーヨー釣りなどなど・・・
「夏だね～」「懐かしいね～」と皆さん楽しまれていました。

ゲームに参加された方には景品を用意しました

景品ゲット！

ヨーヨー釣り

射的

～熱中症を防ぎましょう～

日増しに暑さが厳しくなってきました。これからの季節、特に気を付けたいのが「熱中症」です。

長崎県が発表したデータによると、２０２５年県内では1,１９１人が熱中症で救急搬送されました。これは過去15年間の中で３番目に多い数字です。さらに、75歳以上の高齢者が４割を占めており、その多くが屋外ではなく屋内（自宅）で発症しているのが大きな特徴です。

何故、屋内にいる高齢者の方が熱中症になってしまうのでしょうか。それは高齢期特有の体の変化が関係しています。

渇きや暑さを感じにくい

脳のセンサーが鈍くなり脱水や室温上昇に自分で気づきにくくなります。

体温調節が苦手になる

年齢とともに身体に籠った熱を逃がす機能が衰えていきます。

元々の水分量が少ない

若いころに比べて身体に蓄えられる水分量が減っているため少しの汗でも脱水に陥りやすいのです。

熱中症を防ぐには・・・

〇お茶か水をこまめに飲みましょう

〇エアコン・扇風機を使いましょう

〇涼しい服を着ましょう

〇十分な睡眠と栄養を心がけましょう

今年の夏も厳しい暑さを笑顔で乗り切っていきましょう！

医務室

編集後記

行事だけでなく食事でも四季を感じることができます。１５時のお茶の時間にアイスクリームが提供される日は普段食べに来られない利用者も食堂に来られます。暑い日に食べるアイスクリームは格別です。食べ終えると「やっぱり最高だね～！」と素敵な笑顔になられています。まだまだ気温の高い日が続きますが夏バテ・熱中症にならないよう体調に気をつけて過ごしていきましょう。

広報委員会

お知らせ

福祉サービスに関わる苦情について、令和８年４月１日から７月31日までの間に、苦情に関する申し出はありませんでした。

今後とも福祉サービスの向上に努めていきたいと思います。

苦情処理委員会